

## 教材・支援機器活用実践事例 【選挙制度を分かりやすく学ぶための指導】

	実施年度	平成29年度																											
授業について	教科名等	職業																											
	単元・題材名	「選挙制度について知ろう」																											
	授業における教師のねらい	○現在17歳である生徒たちに選挙に向けての心構えを備えるとともに、自分にとって必要な事柄を判断したり選択したりできる力を育てる。																											
	授業における子どもの目標	○候補者を選ぶ際に必要な公約や主張の違いを理解することができる。 ○自分の考えを整理し、選択することができる。																											
子どもについて	学校・学級・学年	特別支援学校 高等部 通常の学級 2学年																											
	対象の障がい	知的障がい																											
	授業形態	集団学習																											
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象に対する関心が高い一方で誤った知識や断片的な知識により既習事項が整理されにくい。</li> <li>・卒業後は就労を希望する生徒が多いため、社会のきまりや制度を正しく理解し、実社会の中に生かしていく力が求められる。また、多くの情報の中から物事を公平に判断し、選択できる力が必要である。</li> </ul>																											
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	<p>【画像】投票体験において候補者の公約を比較し考えを深めるための教材</p> <p>ワークシート</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td></td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr> <tr><td>A候補</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B候補</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr> <tr><td>A候補</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B候補</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		②	③	④	A候補				B候補					①	②	③	④	A候補					B候補				
		②	③	④																									
A候補																													
B候補																													
	①	②	③	④																									
A候補																													
B候補																													
活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がイメージしやすい身近な話題を取り上げることで選挙に対する意識を高める。</li> <li>・公約を視覚的に訴え、観点ごとに分かりやすくすることで自分の意見に近いのはどちらかを見比べることができる。</li> <li>・実際の選挙に習い、候補者選びから投票までの一連の流れを行う。</li> </ul>																												
授業における支援 ・教材の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公約を比較しやすいように観点ごとに番号を付けて色別で提示する。候補者を選ぶ際に必要な情報を順番に提示することで、公約の必要性に気づくことができるようにする。ワークシートでは、各自観点ごとに記号(◎、○、△、×)で評価し、さらに点数化(◎…4、○…3、△…2、×…1)することで自分の意見と照らし合わせて考えることができるようにする。</li> </ul>																												
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公約から自分の意見と照らし合わせて考えたり、公約そのものに対して「賛成だけど、費用がかかる。」「○○だから反対」など考えを深め素直な意見を述べたりすることができた。また、生徒同士で話し合う活動を取り入れたことで、自分の考えを見つめ直したり、考え方を広げたりすることができた。自分の考えに近い候補者を選ぶということを体験し、選挙に対する意識が高まり、生徒会役員選挙に対する話題も増えた。</li> </ul>																												